



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月26日

上場取引所 東大

上場会社名 小林製菓株式会社

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 06-6231-1144

平成23年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	64,023	△0.4	10,710	1.4	10,961	4.4	6,150	△2.0
23年3月期第2四半期	64,249	0.8	10,564	7.0	10,503	10.9	6,274	17.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 6,249百万円 (21.4%) 23年3月期第2四半期 5,147百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	150.19	—
23年3月期第2四半期	153.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	141,594	96,227	67.8	2,346.05
23年3月期	134,356	91,342	67.9	2,226.42

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 96,068百万円 23年3月期 91,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	33.00	—	33.00	66.00
24年3月期	—	35.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	0.1	18,700	0.4	19,100	0.5	10,000	7.1	244.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 小林メディカル アメリカ エルエルシー
(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	42,525,000 株	23年3月期	42,525,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,576,087 株	23年3月期	1,575,987 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	40,948,990 株	23年3月期2Q	40,949,105 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、平成23年3月に発生しました東日本大震災による甚大な被害から、企業活動や消費マインドが低下し、さらに福島第一原子力発電所の事故や電力供給不足等もあり、極めて先行き不透明な状況で推移しました。

そうした状況の中で当社グループは、経営理念「人と社会に素晴らしい快を提供する」の精神を一層発揮すべきときと考え、被災した製造拠点である仙台小林製薬株式会社の復旧に全力をあげるとともに、同社で製造していた製品に関しては、当社グループの他の製造拠点において代替生産を開始し、製品の安定供給に最大限努めてまいりました。当社グループをあげて取り組んだ結果、6月には仙台小林製薬株式会社の全製造ラインが再開、7月初旬には震災前の出荷体制に回復しております。

さらに、かねてより取り組んでまいりました新市場を創造する製品やサービスの提供により、顧客の潜在ニーズを開拓し市場の活性化に努めました。

その結果、売上高は64,023百万円と前年同期と比べ226百万円(△0.4%)の減収、営業利益は10,710百万円と前年同期と比べ145百万円(1.4%)の増益、経常利益は10,961百万円と前年同期と比べ458百万円(4.4%)の増益となりました。四半期純利益においては6,150百万円と前年同期と比べ124百万円(△2.0%)の減益となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

家庭用品製造販売事業

当事業では今春、新市場の創造と既存市場の拡大に努めた新製品を8品目発売いたしました。なかでも、傷あと改善外用薬「アットノン」、お部屋用芳香消臭剤「ビーズの消臭元 fresh!」が好調に売上を伸ばし業績に貢献しました。

カテゴリー別では、額用冷却シート「熱さまシート」、冷却ジェルマット「熱さまひんやりジェルマット」や、衣類をひんやりコートする冷感持続スプレー「シャツクール」など暑さ対策製品がお客様のニーズをとらえ売上を伸ばした結果、衛生雑貨品が大きく伸長しました。

一方、東日本大震災で仙台小林製薬株式会社が被災したため、主に芳香・消臭剤を中心に震災から数ヶ月間、一日の出荷数量を限定する割当出荷体制をとった影響で、芳香・消臭剤の売上が落ち込みました。

販促企画や夏のキャンペーンは割当出荷期間中は見送っておりましたが、7月以降は出荷体制が整ったことなどから積極的な販売活動に努めました。

その結果、売上高は54,843百万円と前年同期と比べ248百万円(0.5%)の増収、セグメント利益(経常利益)は10,267百万円と前年同期と比べ529百万円(5.4%)の増益となりました。なお、営業利益は10,513百万円と前年同期と比べ357百万円(3.5%)の増益となりました。

(売上高の内訳)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品	11,310	20.7	11,814	21.6	504	4.5
口腔衛生品	7,813	14.3	7,900	14.4	87	1.1
衛生雑貨品	7,456	13.7	7,975	14.5	518	7.0
芳香・消臭剤	17,375	31.8	16,225	29.6	△1,150	△6.6
家庭雑貨品	2,377	4.4	2,348	4.3	△28	△1.2
食品	4,391	8.0	4,682	8.5	291	6.6
カイロ	3,869	7.1	3,896	7.1	26	0.7
合計	54,595	100.0	54,843	100.0	248	0.5

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計1,491百万円、当第2四半期連結累計期間では計1,579百万円となっております。

通信販売事業

当事業では栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告展開やダイレクトメールを中心とした販売促進により、新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

その結果、売上高は4,958百万円と前年同期と比べ241百万円(5.1%)の増収、セグメント損失(経常損失)は45百万円(前年同四半期はセグメント利益159百万円)となりました。なお、営業損失は47百万円(前年同四半期は営業利益156百万円)となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

医療関連事業

当事業では国内で市場の拡大が見込まれる整形外科領域、手術室関連領域に特化する選択と集中をはかりました。また、平成23年7月31日付でMBO方式によりイーベントメディカルインコーポレーティッドの全株式を譲渡しました。

その結果、売上高は5,316百万円と前年同期と比べ535百万円(△9.1%)の減収、セグメント利益(経常利益)は269百万円と前年同期と比べ11百万円(4.6%)の増益となりました。なお、営業損失は45百万円(前年同四半期は営業利益71百万円)となりました。

(売上高の内訳)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
小林メディカル	4,941	84.4	4,395	82.7	△546	△11.1
イーベント社	366	6.3	427	8.0	61	16.8
その他	544	9.3	494	9.3	△50	△9.2
合計	5,852	100.0	5,316	100.0	△535	△9.1

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他事業

上記の3事業をサポートする当事業(運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等)では、各社が独立採算で経営をしているものの、主要3事業への利益貢献もその目的としており、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は3,221百万円と前年同期と比べ82百万円(△2.5%)の減収、セグメント利益(経常利益)は624百万円と前年同期と比べ225百万円(56.3%)の増益となりました。なお営業利益は290百万円と前年同期と比べ112百万円(63.5%)の増益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第2四半期連結累計期間では計2,726百万円、当第2四半期連結累計期間では計2,737百万円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ7,238百万円増加し、141,594百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(1,134百万円)、受取手形及び売掛金の増加(3,976百万円)、商品及び製品の増加(2,965百万円)等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,353百万円増加し、45,366百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(723百万円)、未払金の増加(371百万円)、未払法人税等の増加(1,379百万円)等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,884百万円増加し、96,227百万円となり、自己資本比率は67.8%となりました。主な要因は利益剰余金の増加(4,798百万円)によるものです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は3,917百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が10,270百万円、減価償却費が1,324百万円、売上債権の増加額が4,084百万円、たな卸資産の増加額が3,358百万円、法人税等の支払額が2,497百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は1,091百万円となりました。これは主に、有価証券の取得による支出が19,995百万円、有価証券の売却(償還)による収入が20,500百万円、投資有価証券の取得による支出516百万円、有形固定資産の取得による支出が799百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は1,609百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が1,350百万円、リース債務の返済による支出が247百万円によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より1,134百万円増加し33,097百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は概ね計画に沿っており、また利益に関しては計画を上回って推移しております。

国内の事業環境は引き続き厳しい状況で推移することが予測されることから、現時点において、平成23年5月6日に発表いたしました通期の業績予想は修正いたしておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

小林健康医薬株式会社は解散したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、イーベント メディカル インコーポレーティッドは全株式について株式譲渡したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

なお、同社株式を保有しておりました小林メディカル アメリカ エルエルシーは重要性が無くなったため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,963	33,097
受取手形及び売掛金	29,879	33,855
有価証券	11,005	11,006
商品及び製品	8,402	11,367
仕掛品	477	508
原材料及び貯蔵品	2,015	2,109
繰延税金資産	4,170	3,952
その他	1,284	1,031
貸倒引当金	△361	△48
流動資産合計	88,837	96,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,042	5,932
機械装置及び運搬具（純額）	2,306	2,209
工具、器具及び備品（純額）	1,016	967
土地	3,471	3,471
リース資産（純額）	1,213	994
建設仮勘定	107	75
有形固定資産合計	14,156	13,650
無形固定資産		
のれん	4,021	3,690
商標権	677	595
ソフトウェア	897	929
リース資産	74	59
その他	250	250
無形固定資産合計	5,922	5,525
投資その他の資産		
投資有価証券	17,251	17,315
長期貸付金	500	482
繰延税金資産	2,334	2,387
投資不動産（純額）	3,113	3,121
その他	2,431	2,451
投資損失引当金	—	△25
貸倒引当金	△191	△196
投資その他の資産合計	25,440	25,537
固定資産合計	45,518	44,712
資産合計	134,356	141,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,880	13,604
短期借入金	25	15
未払金	12,859	13,230
リース債務	462	418
未払法人税等	2,177	3,557
未払消費税等	567	360
返品調整引当金	1,661	1,535
賞与引当金	2,086	2,052
資産除去債務	13	13
その他	1,790	1,949
流動負債合計	34,525	36,737
固定負債		
リース債務	874	677
退職給付引当金	5,159	5,151
役員退職慰労引当金	14	15
資産除去債務	73	73
その他	2,366	2,711
固定負債合計	8,488	8,629
負債合計	43,013	45,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219
利益剰余金	92,185	96,984
自己株式	△4,701	△4,701
株主資本合計	95,154	99,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	489	662
繰延ヘッジ損益	△599	△834
為替換算調整勘定	△3,874	△3,712
その他の包括利益累計額合計	△3,984	△3,884
新株予約権	160	159
少数株主持分	12	—
純資産合計	91,342	96,227
負債純資産合計	134,356	141,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	64,249	64,023
売上原価	26,901	26,066
売上総利益	37,348	37,956
販売費及び一般管理費	26,784	27,245
営業利益	10,564	10,710
営業外収益		
受取利息	33	70
受取配当金	112	115
受取ロイヤリティー	232	225
不動産賃貸料	136	136
持分法による投資利益	126	116
その他	136	280
営業外収益合計	778	945
営業外費用		
支払利息	32	27
売上割引	543	538
不動産賃貸原価	39	37
為替差損	199	49
その他	25	41
営業外費用合計	840	694
経常利益	10,503	10,961
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	53	—
受取保険金	—	25
その他	4	0
特別利益合計	57	27
特別損失		
固定資産除売却損	34	48
投資損失引当金繰入額	17	25
子会社株式売却損	—	604
子会社清算損	31	0
減損損失	26	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25	—
災害による損失	—	35
その他	9	2
特別損失合計	144	717
税金等調整前四半期純利益	10,417	10,270
法人税、住民税及び事業税	4,278	3,811
法人税等調整額	△136	309
法人税等合計	4,142	4,120
少数株主損益調整前四半期純利益	6,275	6,149
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	6,274	6,150

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,275	6,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△544	172
繰延ヘッジ損益	△285	△401
為替換算調整勘定	△314	162
持分法適用会社に対する持分相当額	16	166
その他の包括利益合計	△1,127	99
四半期包括利益	5,147	6,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,146	6,250
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,417	10,270
減価償却費	1,415	1,324
のれん償却額	624	298
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△278
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	183	△11
受取利息及び受取配当金	△146	△185
支払利息	32	27
持分法による投資損益 (△は益)	△126	△116
子会社株式売却損益 (△は益)	—	604
投資有価証券売却損益 (△は益)	△53	—
固定資産除売却損益 (△は益)	34	47
投資損失引当金繰入額	17	25
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,160	△4,084
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,246	△3,358
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,398	782
未払金の増減額 (△は減少)	△351	539
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△131	△198
その他	△82	61
小計	4,826	5,748
利息及び配当金の受取額	136	687
利息の支払額	△27	△21
法人税等の支払額	△3,527	△2,497
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,407	3,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	45	—
有価証券の取得による支出	△17,994	△19,995
有価証券の売却(償還)による収入	19,500	20,500
有形固定資産の取得による支出	△1,010	△799
有形固定資産の売却による収入	0	12
無形固定資産の取得による支出	△196	△200
投資有価証券の取得による支出	△3,066	△516
投資有価証券の売却による収入	52	—
投資その他の資産の取得による支出	△112	△116
投資その他の資産の売却による収入	85	45
長期貸付けによる支出	△115	△37
長期貸付金の回収による収入	2	56
その他	△0	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,809	△1,091

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,509	△10
長期借入金の返済による支出	△182	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	—	0
配当金の支払額	△1,351	△1,350
リース債務の返済による支出	△304	△247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,348	△1,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△75	△80
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,826	1,136
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△1
現金及び現金同等物の期首残高	32,623	31,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,797	33,097

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,103	4,716	5,852	63,672	577	64,249	—	64,249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,491	—	—	1,491	2,726	4,217	△4,217	—
計	54,595	4,716	5,852	65,163	3,304	68,467	△4,217	64,249
セグメント利益	9,738	159	257	10,155	399	10,555	△51	10,503

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△51百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,264	4,958	5,316	63,539	484	64,023	—	64,023
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,579	—	—	1,579	2,737	4,317	△4,317	—
計	54,843	4,958	5,316	65,119	3,221	68,341	△4,317	64,023
セグメント利益又は損失(△)	10,267	△45	269	10,491	624	11,116	△154	10,961

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△154百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「医療関連事業」において、一部の事業領域で撤退を行ったことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は1,969百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。